

# 未来を選択する力を身に付ける テキスト

・ 子どもに関わる政策を考える ・

監修・制作：淑徳大学コミュニティ政策学部矢尾板俊平研究室

協力：Research Institute for Social Mission, Social Design Labo

# 情報を集めよう

下記のキーワードに関連する新聞記事を集めて、自分が重要だと思うところに、線を引いておきましょう。また、政府や自治体がどのような取り組みをしているのかを調べておきましょう。

## キーワード

「待機児童」、「子育て支援」、「企業の育児支援」、「子どもの貧困」、「子どもの社会参画」

# みんなで話してみよう

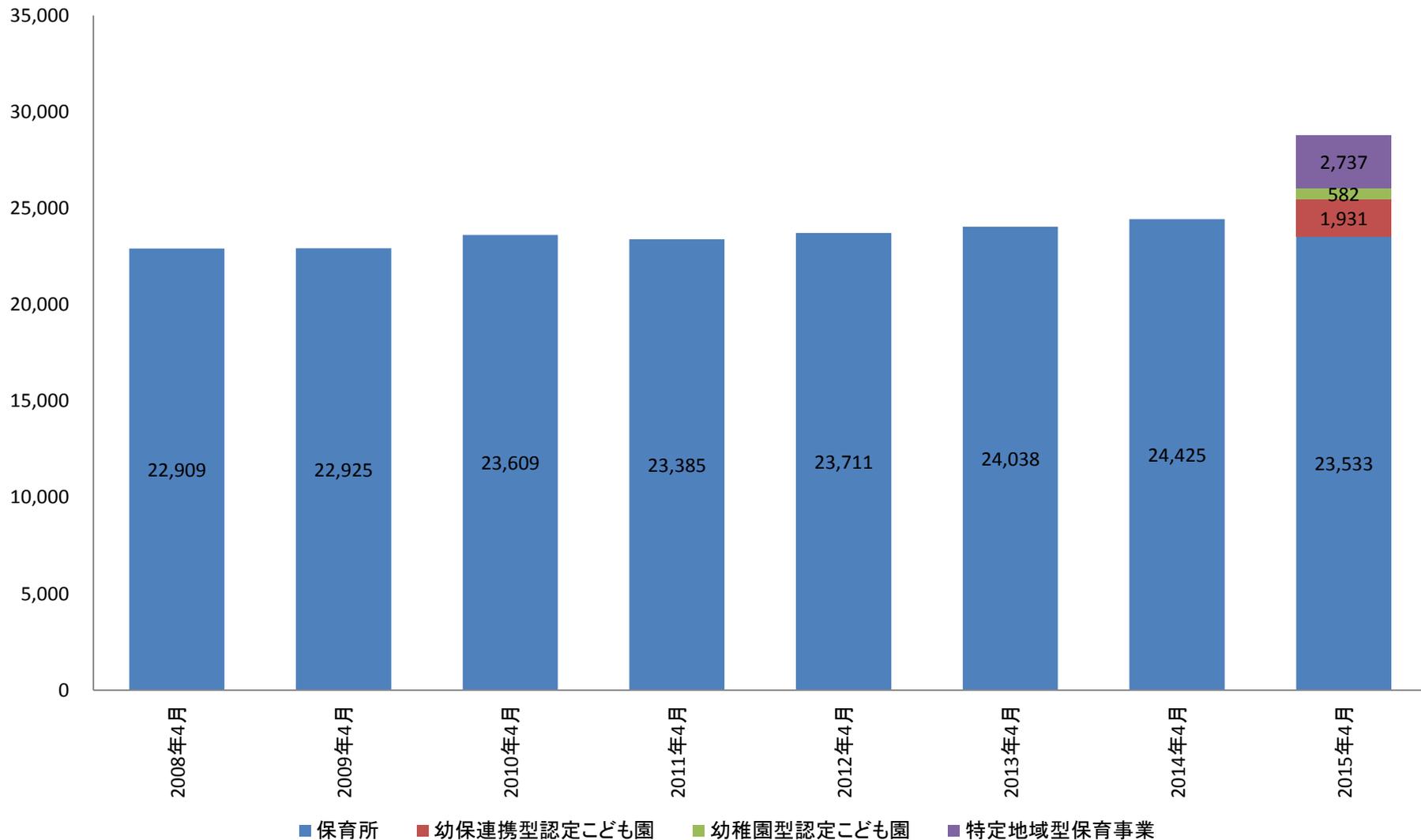
## テーマ

子どもを産み育てやすい社会を作るには、何が**必要だ**と**思いますか**？

なぜ必要かということも触れながら、必要だと思うことを説明してください。

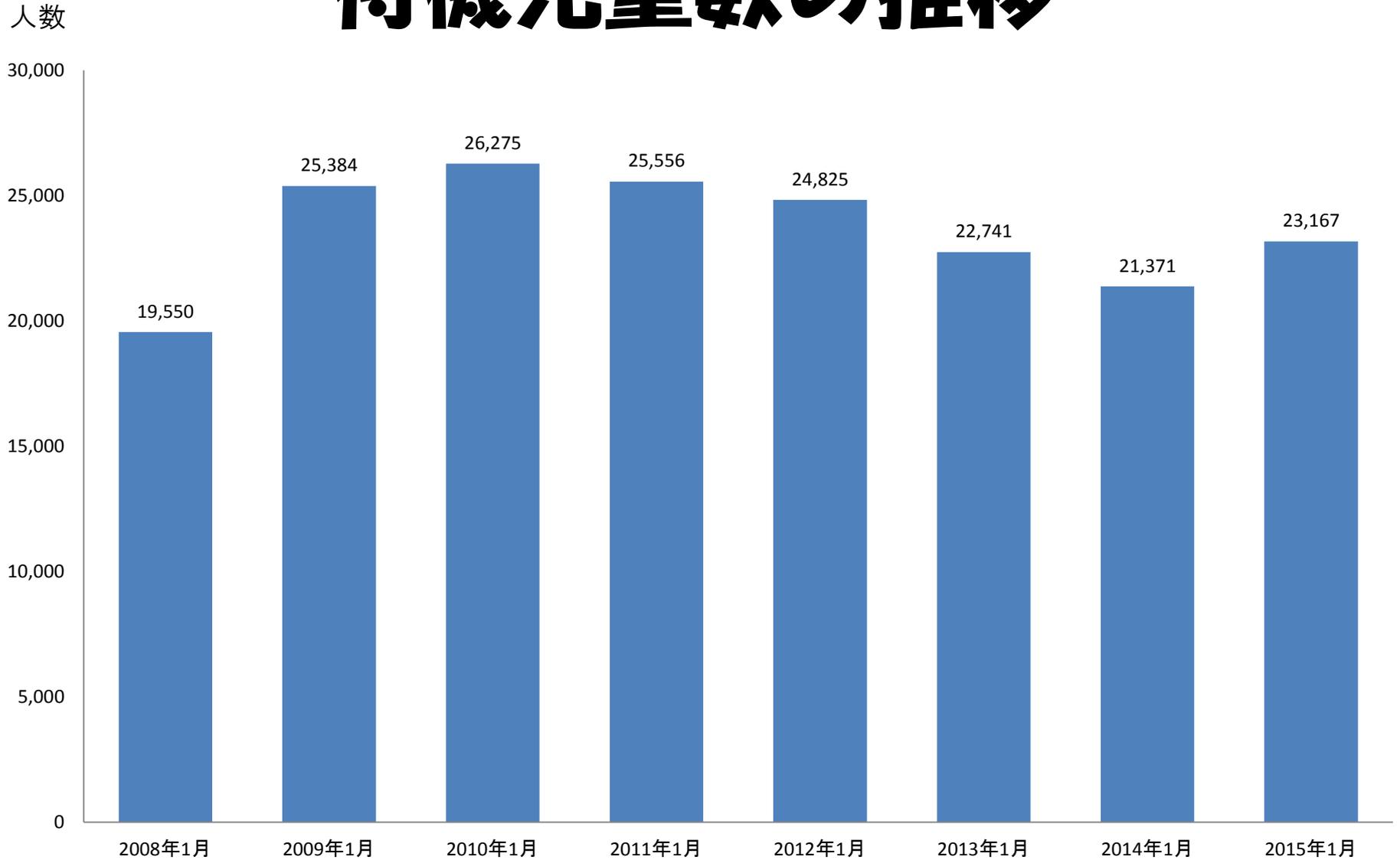
# 保育所等数の推移

保育所等の数

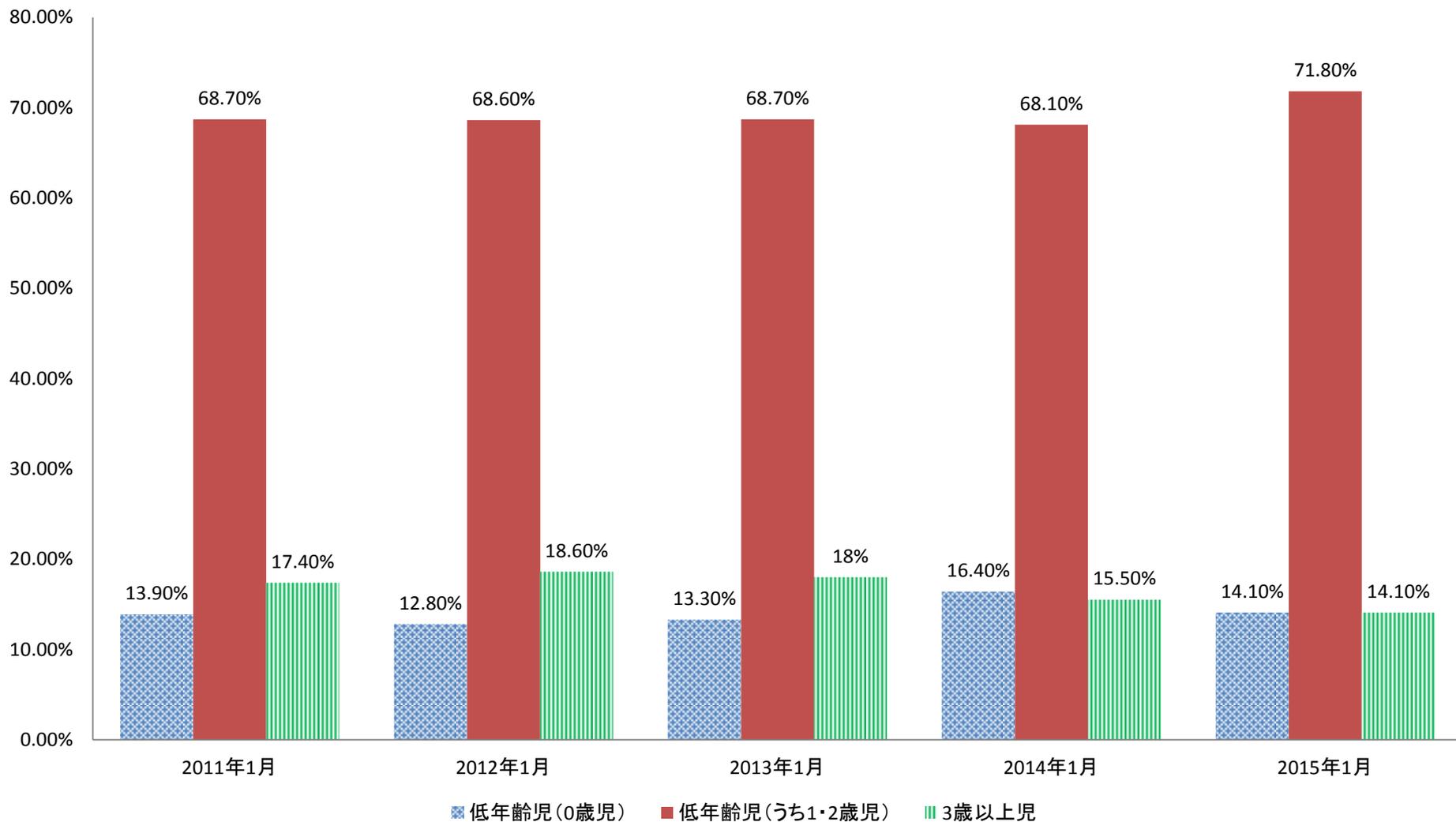


出所：厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（平成 27 年 4 月 1 日）」

# 待機児童数の推移

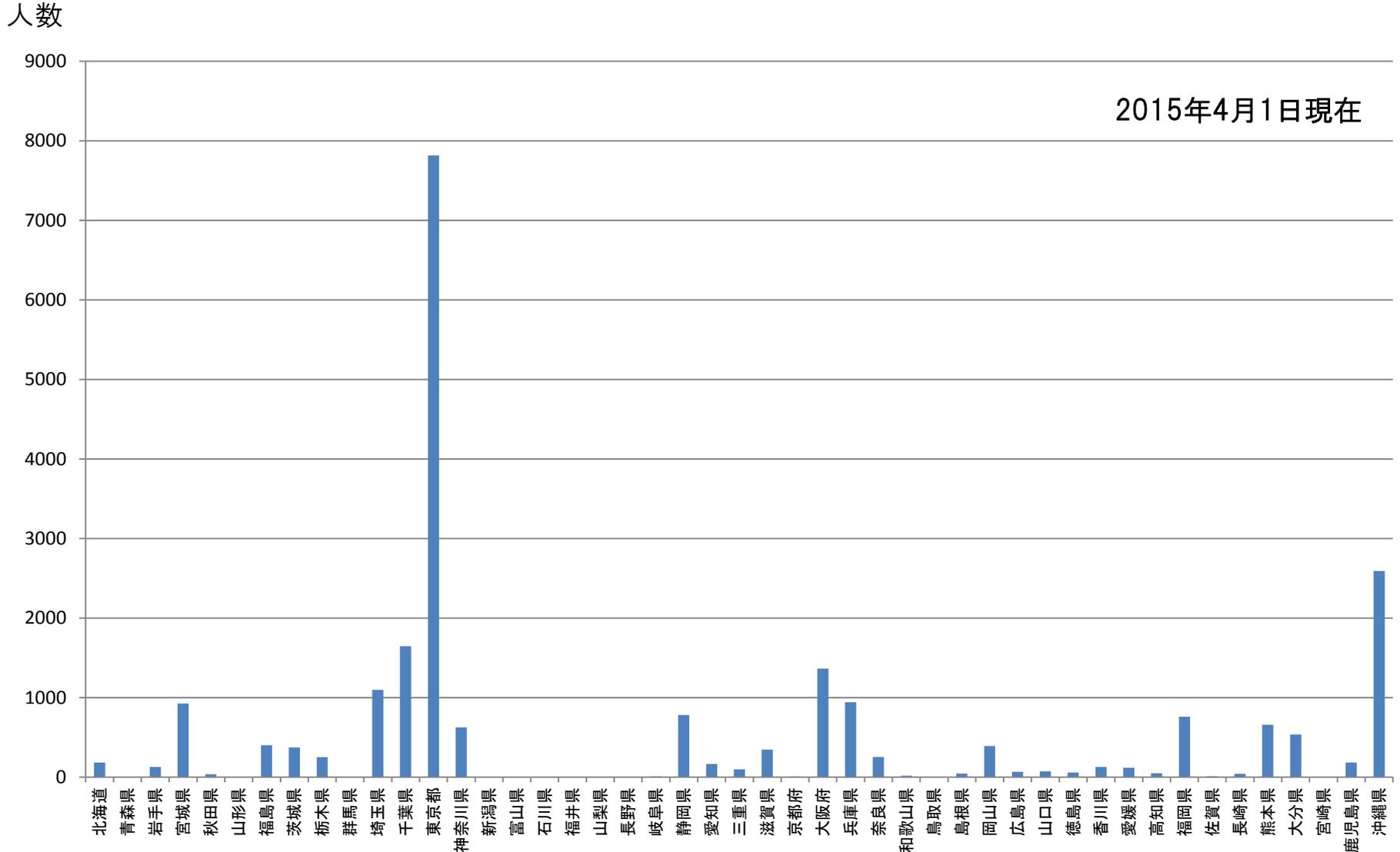


# 待機児童数の割合（年齢別）



出所：厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ」に基づき作成

# 都道府県別の待機児童数



出所：厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（平成27年4月1日）」

# 気が付いたことをメモしよう

待機児童問題にはどのような問題があるのだろうか？

付箋紙を使って、データを見て思ったこと、感じたことを、なんでもいいから書き出してみよう。

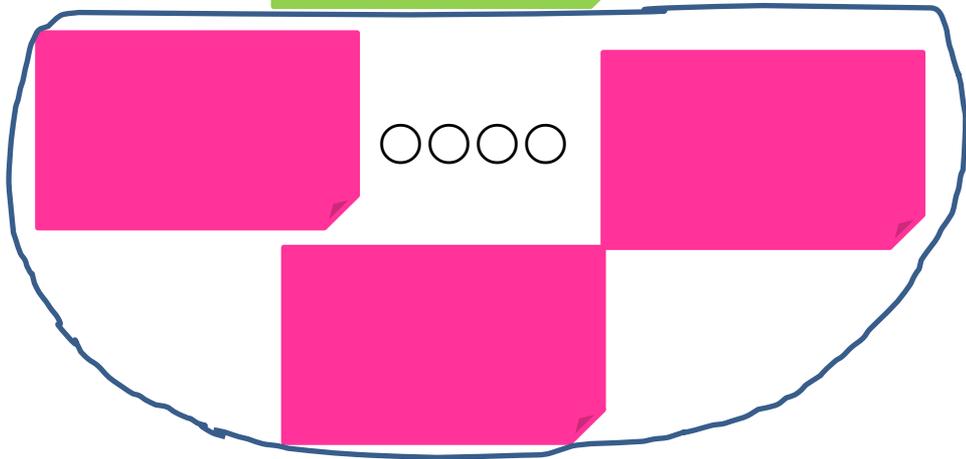
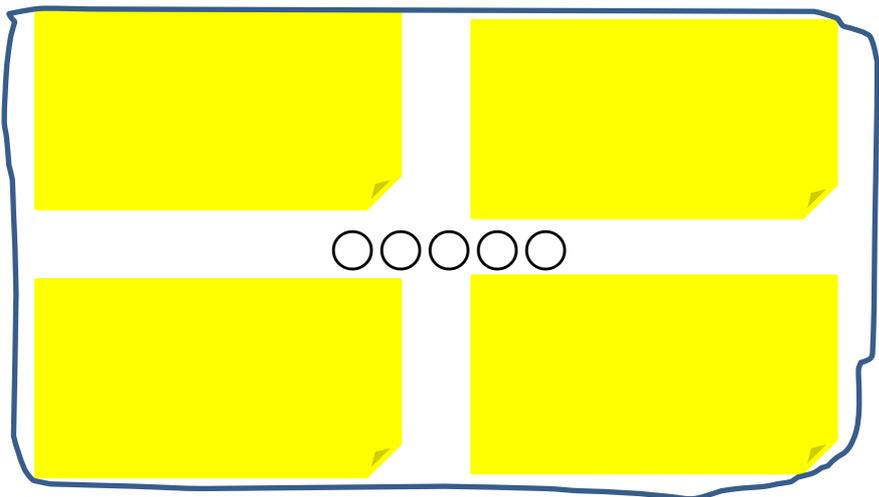
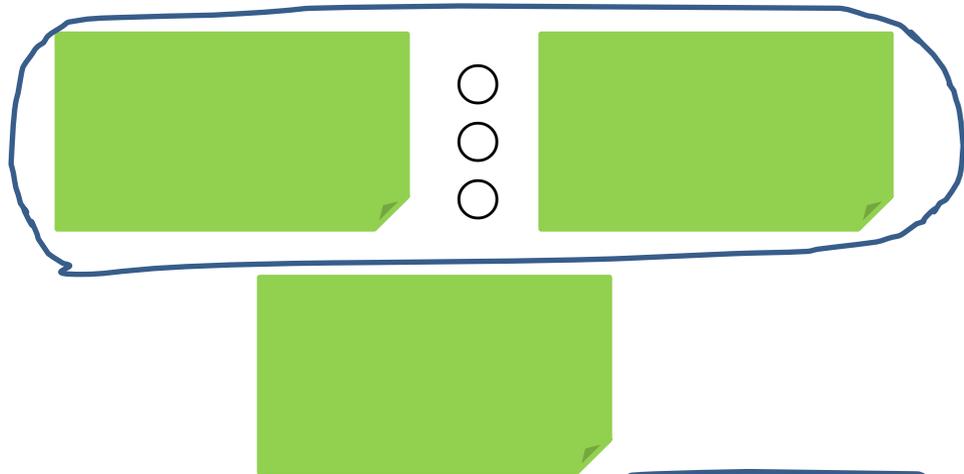
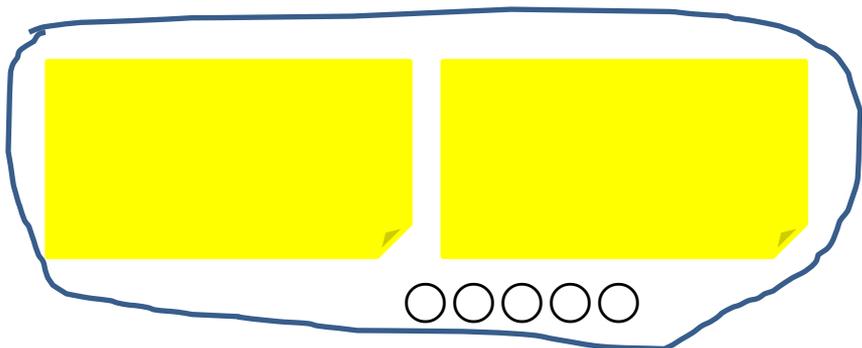
黄色の付箋紙には、「良いと思ったこと」、緑の付箋紙には「問題」と思ったこと、ピンクの付箋紙には、「これからやった方がいい」と思ったことを、一枚にひとつの内容を書いていき、全部で6枚作ってみよう



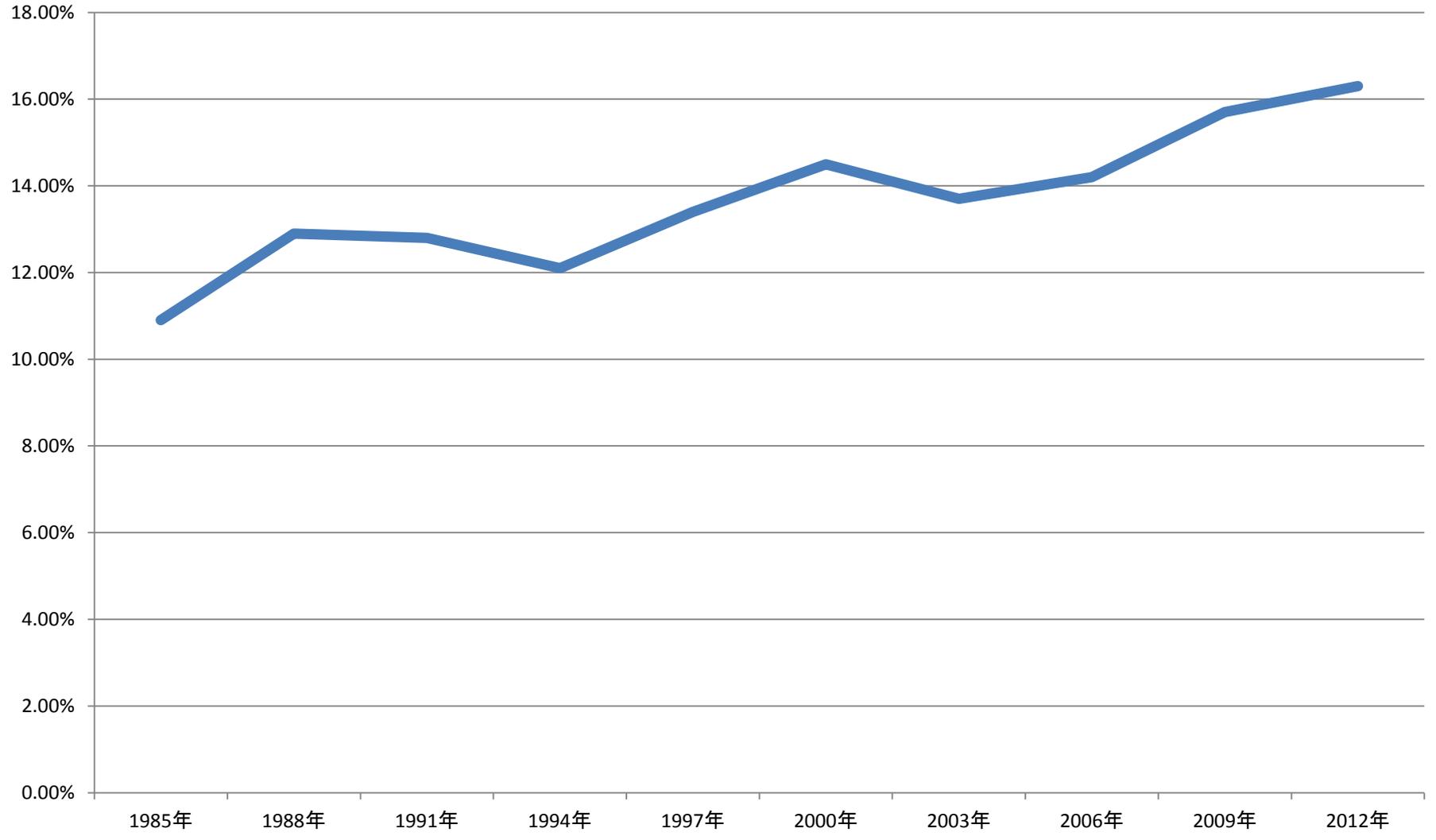
# みんなの意見をまとめてみよう

みんなが書きだした付箋紙を集めて、まとめて、発表してみましよう。

まず付箋紙を色ごとに集めてみましょう。次に似た者同士を集め、色マジックで似た者同士を線で囲み、それぞれの共通項と思う言葉でタイトルを付けましよう。

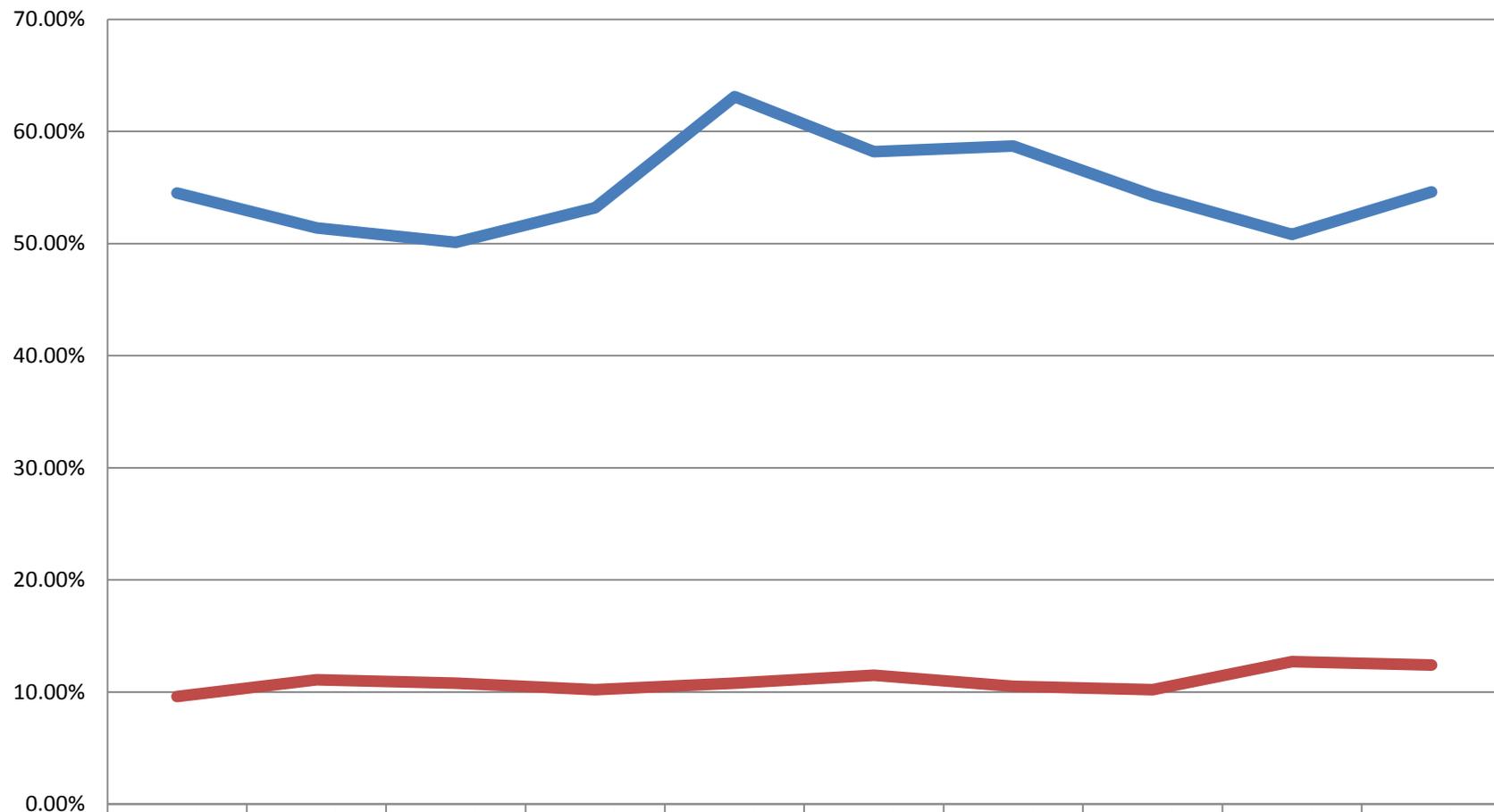


# 日本の子どもの貧困率の推移



出所：内閣府『子ども・若者白書』（平成 27年度版）」

# 子どもがいる家庭の貧困率の推移



大人が1人	54.50%	51.40%	50.10%	53.20%	63.10%	58.20%	58.70%	54.30%	50.80%	54.60%
大人が2人以上	9.60%	11.10%	10.80%	10.20%	10.80%	11.50%	10.50%	10.20%	12.70%	12.40%

# 気が付いたことをメモしよう

子どもの貧困問題について、考えてみよう。  
付箋紙を使って、データを見て思ったこと、感じたことを、  
なんでもいいから書き出してみよう。

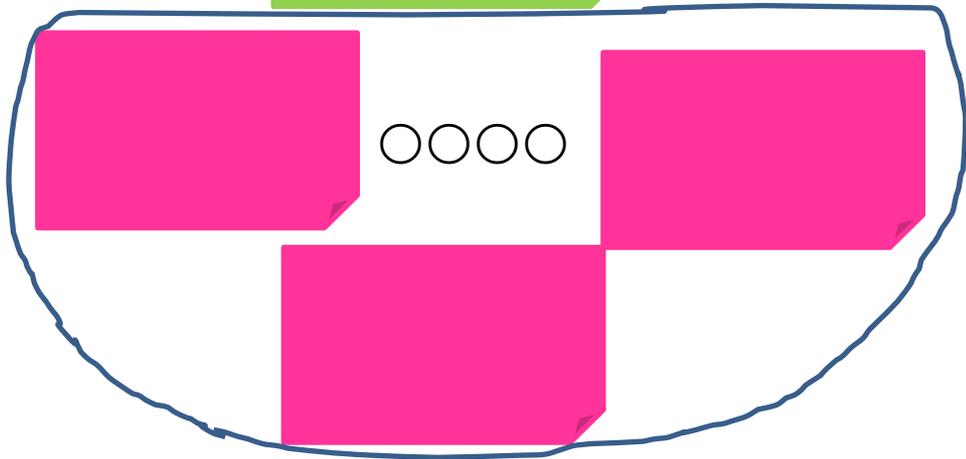
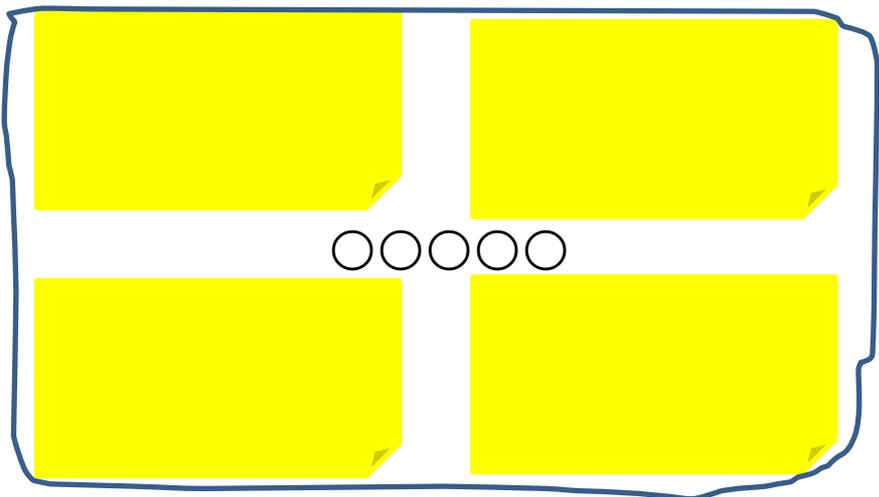
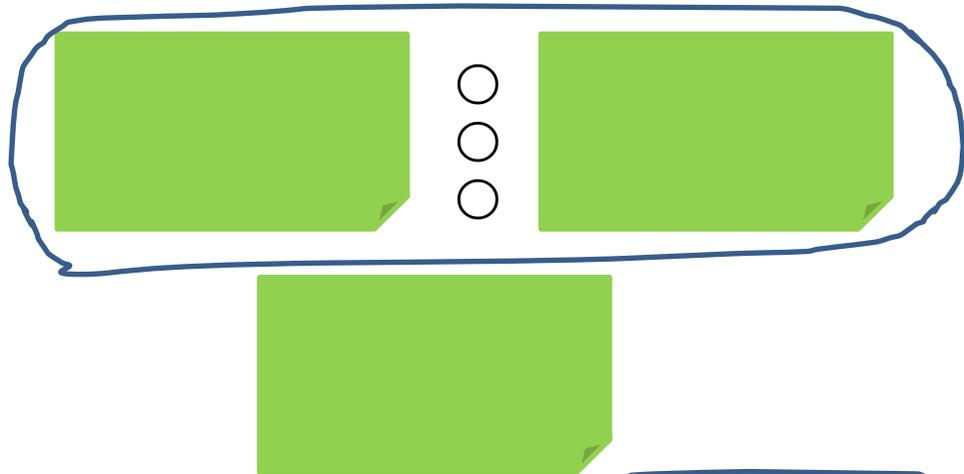
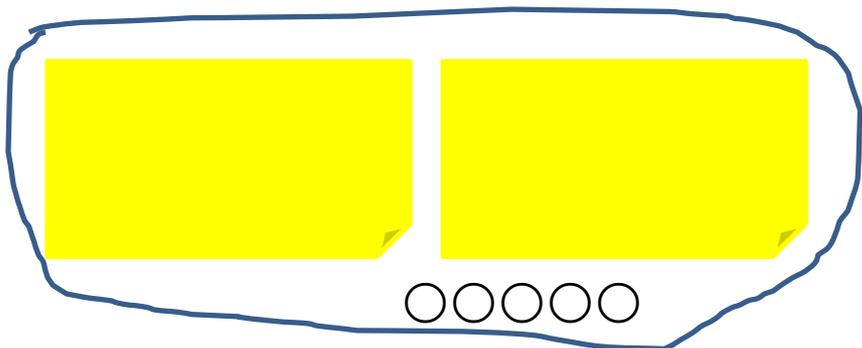
黄色の付箋紙には、「良いと思ったこと」、緑の付箋紙には「問題」と思ったこと、ピンクの付箋紙には、「これからやった方がいい」と思ったことを、一枚にひとつの内容を書いていき、全部で6枚作ってみよう



# みんなの意見をまとめてみよう

みんなが書きだした付箋紙を集めて、まとめて、発表してみましよう。

まず付箋紙を色ごとに集めてみましょう。次に似た者同士を集め、色マジックで似た者同士を線で囲み、それぞれの共通項と思う言葉でタイトルを付けましよう。



# 話し合ったことをまとめよう

「子育て」や「子ども」が育つ環境をより良くしていくために、どのような取り組みが必要かを考えていきます。

企業は、子育て支援にどのようなことができる？

子育て支援には、どのような方法がある？

という視点も考えながら、これまで話し合ってきたこと、考えたこと、思ったことを、「現状」、「課題」、「やるべきこと」を、グループでまとめてみましょう。

現状	課題
	やるべきこと



# 政策を考えよう

これまで考えてきた「子育て」や「子ども」が育つ環境をより良くするための方法を、発表できるようにまとめましょう。

政策プラン名を「キャッチフレーズ」的に表現すると・・・

政策プランを「3つの柱」にまとめて、説明しよう